

# 平成 30 年度行政評価の実施結果

## 1. 行政評価の目的と評価方法の見直し

千曲市では、「①評価結果の公表による行政運営の透明性、信頼性の向上」「②経営感覚・コスト意識の醸成や事務事業の見直し・改善等による行政資源（職員、事業費、施設）の効果的で適正な配分」「③総合計画の進行管理と実施計画・予算への反映」「④職員の意識改革による地方分権への的確な対応」を目的に、平成 19 年度から実施しています。

本年度から第二次千曲市総合計画に基づく行政評価を実施するにあたり、これまでの外部評価委員のご意見や監査委員のご指摘を踏まえ、施策の成果や課題、改善点を明らかにした、簡潔でわかりやすい評価方法へと見直しを行いました。具体的には、主に次の 4 点について見直しました。

1 点目は、既存の「評価シート」を廃止し、毎年 9 月議会定例会で報告している「主要な施策の成果に関する説明書」を「評価シート」とし、重複する書類作成による職員の負担を軽減するとともに、内部評価対象の施策を増加させました。

2 点目は、評価指標「A、B、C、D」を廃止しました。これは、あえて評価指標に丸め込むことをせずに、まずは施策の成果や課題、改善点を明らかにすることに主眼を置きました。

3 点目は、第二次千曲市総合計画の「成果指標」及び千曲市まち・ひと・しごと創生総合戦略の「重要業績評価指標（KPI）」の達成状況をそれぞれ一覧表にまとめ、進捗状況を毎年公表することとしました。

4 点目は、外部評価対象とする施策の担当課長を行政評価等外部委員会に同席させ、施策の課題や改善点について外部評価委員と直接議論できるようにしました。

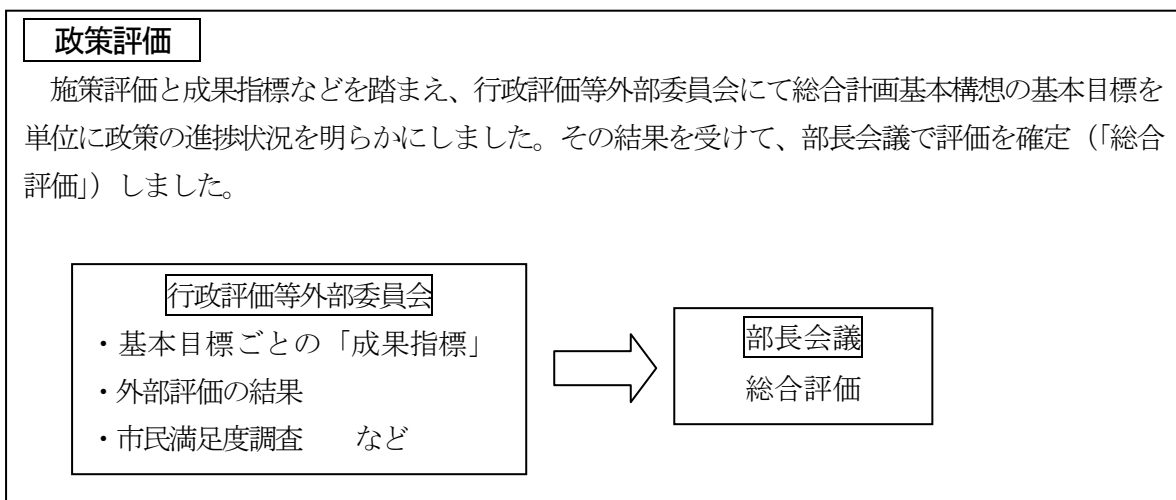
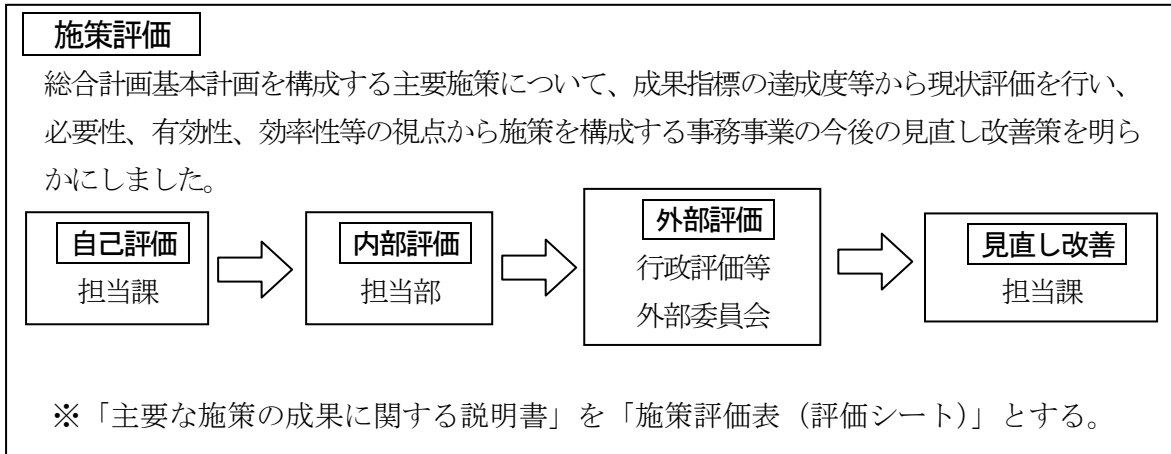
以上、4 点の見直しにより、PDCA サイクルでいう「C」と「A」の部分の改善を図りました。この PDCA サイクルを適切に回すことにより、予算や行政資源の最適化を図っていきます。

## 2. 評価対象

施策評価は、第二次千曲市総合計画「前期基本計画」を踏まえて決定した「平成 29 年度施政方針」の中から、重点施策に掲げた 10 施策 27 事業と主要施策に掲げた 20 施策 53 事業、計 30 施策 80 事業を対象としました。

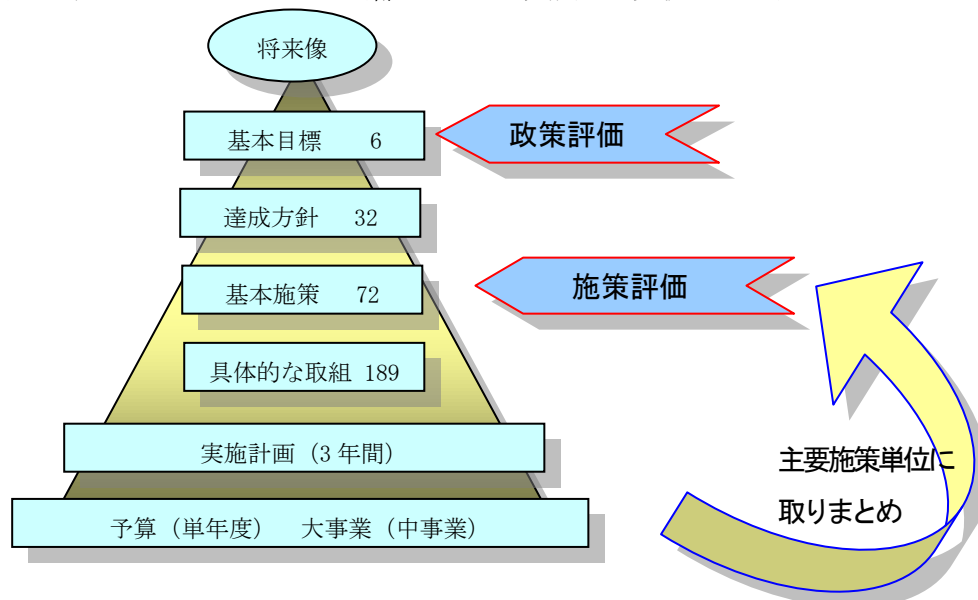
政策評価は、第二次千曲市総合計画の基本構想に掲げた基本目標 6 項目を評価の対象としました。

### 3. 評価手順



### 千曲市総合計画・基本計画体系

「科野の国 さらしな はにしな 史都がにぎわう信州の交流拠点 千曲」



## 4. 施策評価

### (1) 自己評価

基本計画の主要施策について、各担当課で施策評価表（「別紙1」のとおり）を用いた自己評価を行いました。

成果指標の達成状況等（「別紙1・4」のとおり）から現状評価を行い、「必要性」「有効性」「効率性」などの観点から事務事業の課題を総括し、今後の見直し改善策を明らかにしました。

### (2) 内部評価

担当部で自己評価を検証し、施策の進捗状況や課題などを踏まえ、期待と成果の観点から現状評価を行い、特筆すべき成果や課題、見直し・改善点などについて総括しました。

### (3) 外部評価

評価の客観性をより高めるため、行政評価等外部委員会において内部評価を検証しました。施策の進捗状況や課題等から現状評価を行い、課題、見直し・改善点等についての委員の意見を取りまとめました。

## 5. 政策評価

### (1) 外部評価

行政評価等外部委員会において、施策評価や成果指標などを踏まえ、第二次千曲市総合計画「基本構想」に掲げた基本目標ごとの進捗状況を明らかにし、委員の意見を取りまとめました。

### (2) 総合評価

外部評価を踏まえて、部長会議において政策に対する現状評価を決定し、政策の進捗状況を確定しました。

## 6. 行政評価の活用

### (1) P D C Aサイクルの確立

P（計画）D（実行）C（評価）A（改善）サイクルを確立し、明らかになった事務事業の課題や見直し改善策の着実な実施に努めます。

### (2) 評価結果の公表

行政運営に対する透明性、信頼性を高めるため、各庁舎窓口やホームページなどを通じて広く評価結果を公表します。